

令和7年度第2回鈴鹿市応急診療所運営委員会 議事概要

1 日 時

令和8年3月17日（火） 19時30分～21時

2 場 所

鈴鹿市保健センター 会議室

3 出席者

応急診療所運営委員 8人
事務局 6人 合計14人

4 傍聴者

なし

5 内 容

(1) 挨拶

(2) 利用状況について

(事務局)

ア 令和7年度（R8年2月末まで）の利用状況

- ・令和7年度の利用者数は、令和8年2月末時点で10,318人。
- ・内科患者と小児科患者が同程度の割合。
- ・市外からの受診者の割合は15%程度で、亀山市からの利用割合は昨年度に比べ増加した。
- ・現行の調査方法が始まった平成11年度以降、初めてインフルエンザの流行が同一シーズンに2回あり、応急診療所でも11月と2月にピークがあった。
- ・曜日別の受診者数では、医療機関の休診日と重なる土日が多く、祝日の関係で月曜日も比較的多くなっている。

イ 年末年始期間における利用状況

- ・令和7年度の年末年始期間は昨年度と同様、9日間と長期間となり、この期間中の祝休日の利用者数の平均は164.5名で、昨年度の375.7名と比較して約43.8%減少し、大きな混乱もなく終えることができた。

ウ 抗原検査実施状況

- ・令和7年度の検査件数は、令和8年2月末時点で、新型コロナウイルス

ルスが 6,600 件で、8月の陽性率が 40.7%と最も高値、インフルエンザが 6,769 件で、11月の陽性率が 65.3%と最も高値であった。

- ・ 応急診療所で、麻しん疑いの患者からの問合せ等あった場合、鈴鹿保健所に連絡し、指示を仰ぐことになっている。

エ 決算見込み報告

- ・ 令和7年度の決算見込みは、歳入が歳出を上回る見通し。

(3) 薬剤等について (R8年2月末まで)

- ・ 採用薬剤の使用量の報告及び来年度採用薬剤の検討

(4) 事例報告について

- ・ 今年度に応急診療所で発生した事例について報告

(5) 診療体制について

- ・ 今後の二診体制及び来年度のGW前後の開院状況の確認等